



7月15日、衆議院特別委員会で安保法案＝戦争参加法案が与党単独で強行可決されました。12日には広島市中央公園で開催されたストップ！戦争法ヒロシマ集会には4500人が強行採決を許さないとして広島市民が集まりました。

私たち反貧困ネットワーク広島も機関紙13号の山田代表挨拶で、平和な世の中でないと貧困はなくせない、第一次大戦や太平洋戦争も不況による生活苦が始まりであったと指摘しています。

貧困問題とともに**安保法制反対、9条守れ**を訴え、諸団体と連携していきたいと思えます。事務局長 秋田智佳子

第4回反貧困ネットワーク広島定期総会開催

総会に於いて、今年4月1日から生活困窮者自立支援制度が開始され、私達が2009年に開設運営してきたシェルターについては、広島市から「一時生活支援事業」を受託したことを報告しました。

他方、大手町で週3回（月水金の午後）開いている憩いの場「ほっとサロン」については、シェルター利用者のみならず、シェルター卒業生も利用しているため、人件費等経費の2分の1しか補助が認められませんでした。今後、ほっとサロンを継続していくためには、より多くの方に経済的支援を求めていく必要があることを確認しました。懇親会では、ナッパーズの山上茂典さんのギターと田中勝さんのハーモニカによる「一緒に歩かなくても」等の歌と演奏で盛り上がりました。

なお、小野猛司法書士が理事を退任されました。

記念講演『困窮者支援の在り方～倉敷のシェルター活動の取組み～』

去る、5月23日（土）NPO法人として4回目の定期総会の記念講演として、倉敷市の「ほっとスペース25」代表の山下順子さんに、「困窮者支援の在り方～倉敷のシェルター活動の取組み～」と題して、ご講演いただきました。



「ほっとスペース25」は、2008年秋のリーマンショックの影響により、山下さん達が活動されていた倉敷市水島地域でも多くの労働者が派遣切りにより、仕事も家も失われ、そうした方の相談に対応する中で、緊急宿泊施設と生活再建までの支援ができるセンターの必要性を感じ、2009年2月に倉敷医療生協と労組とで、緊急一時宿泊所付の相談センターを立ち上げられたのが始まりとのことでした。

ちなみに、「ほっとスペース25」とは、相談者が「ほっとする居場所（心のよりどころ）」であるということと、「憲法25条を守る」という

2つの意味が込められているとのことでした。

活動を続けながら、こうした相談者への支援は、そもそも行政の責任であるとして、行政に対し交渉を何度も行った結果、倉敷市が緊急一時宿泊所設置の予算をつけたことが大きな活動成果であると語られていました。

また、本当に必要な人に情報が届かないの思いから、夜回りボランティアを行われ、路上で生活される方との信頼関係を築かれていたり、また、ほっとスペース25を利用された方にお花見などの案内ハガキや年賀状を送り、「あなたのことを忘れてなんかいないよ。」「あなたは社会とつながっているんだよ。」という事をメッセージとして伝えているといった活動をご報告いただきました。ご報告の中で、これまでは、単身のホームレスからの相談が多かったが、最近は家族4人でホームレスといった方からの相談が増えているというお話が印象的でした。

また、医療生協のつながりから、学生などの若い方も活動に参加されていたり、利用者の方が専従職員として相談員になっているとのこと、私たちの活動に通じるところが多くありました。

今年の4月から生活困窮者自立支援法が開始され、これまで国の責任で実施されてきた各種事業のうち、自立相談支援事業と住居確保支援事業のみが必須事業で、その他の事業は任意事業となりました。また、これまで国の10割負担で行っていたものが、事業によって国庫負担や補助金の割合も異なり、実施するかしないかは自治体次第です。

ほっとスペース25でも、倉敷市から、制度改正当初は、緊急一時宿泊事業を実施するかわからないと言われていたところ、交渉の結果、ほっと

スペース25が受託して続けられることとなりました。しかし、昨年と比べると年間で約100万円の補助金減額となり、また、倉敷市からは利用者の中で就労に至った件数を増やすようにと言われているとのことです。

広島と倉敷とは地理的に近いためか、私たちの活動と共通するところが非常に多く、また、同じような悩みも抱えていらっしゃいました。今後も相互に情報交換をしていきたいと思いました。

(N)

まちかど生活相談会報

【相談内容】

生活苦14、借金13（うち携帯代5）、相続12、損害賠償11、労働9、離婚6、こころ6、生活保護6、医療・病気5、賃貸借5、相隣関係4、貸金4、年金・障害年金3、税金3、後見2、刑事事件2

【性別】

男性49、女性42、不明5

【年代】

20代(2)、30代(5)、40代(13)、50代(18)、60代(20)、70代(15)、80代(7)、不明(16)

今回は暑くもなく寒くもない、珍しく過ごしやすい相談会で、2日間で96件（うち電話相談は3件）の相談がありました。

相談内容ですが、今回は50代から80代の相談が多く、年金だけでは生活できない、国保料や介護保険料を特別徴収され、受け取り年金額が少ない、生活保護を受けており65歳に年金支給額が上がったため、上がった分が生活保護費から差し引かれ、受け取り生活保護支給額では暮らせない、夫がうつ病で退職し妻が昼夜ダブルワークで家庭を支えてきたが国保料、年金保険料、住民税が高く生活が苦しいなど生活苦の相談が多く寄せられました。



また、生活保護の住宅扶助引下げが行われたばかりということで、身体が悪くて転居できないため現在のところに住み続けたいが可能か、住宅扶助引き下げの報道を見ていると不安で夜も眠れないという相談、雇用促進住宅の更新条件が厳しくなったが連帯保証人がいないといった住まいの相談もありました。

借金の相談は毎回多いものの年金など収入が少ない、あるいは医療費が高くかかるため携帯電話

代が払えない、60歳になり給与が減ったため県営の家賃を滞納して明渡訴訟を起こされている、本人が入院費を支払えなくなったために病院から保証人に請求書が届いたといった金融機関以外に対する債務の相談や、誕生日に年金受給開始と考えて生活費などとして借入れをしたのに年金支給が2ヶ月遅れるため借入れの返済ができないといった相談もありました。

年金関係では、働き盛りの子どもが、ひきこもりや病気で国民年金保険料を払えなくなり、70代、80代の親が子どもの代わりに払いたくても生活苦のため払えないといった相談、刑務所に入っている間に障害年金が切れ、更新手続きができていないといった相談がありました。

相続の相談も、あり余る財産の処理についてというよりも、認知症の親戚の相続が不安、落石危険区域の土地建物の相続、相続した老朽化建物の工作物責任といった悩ましいものが散見されました。

労働相談では、重い物を持つ仕事のために腰痛となり労災請求したい、母子家庭のお母さんが育児や職場でのストレスで声が出なくなり仕事を辞めたいが次の仕事が見つからずどうしたらいいか、パワハラでうつ病と診断され入院しており傷病手当や労災請求をしたいといった相談がありました。



損害賠償では、生活保護と障害年金のため生活が苦しくバイクの任意保険に入っていなかったが、事故で入院し相手から自賠償を超える部分の請求を受けたがどうしたらいいかといった相談がありました。

このほか、病気や家族のことなど一通り話され、死にたいと口にしたたり、話を聞いてもらったので満足した、すっきりしたといった寂しい高齢者も数人おられました。相談に来られる方は心の病も抱えている場合が多く、医療ソーシャルワーカーや保健師と一緒に傾聴しました。

女性の労働と貧困～なぜ女性の給料は低いのか？ 「女だって普通に生きたい！」

スクラムユニオン・ひろしま 土屋みどり

4月29日大津市の琵琶湖のほとり、ピアザ淡海ピアザホールにて開催された、この集いは、秋に行われる日本弁護士連合、人権擁護大会のプレ企画として行われました。第1部現場報告として、NPOリバティイー・ウィメンズハウス・おりーぶ理事長の山本良子さんから、薬物依存、DV被害で悩む女性たちをどのように支援しているか、具体例を交えて報告がありました。シェアハウスでの共同生活を通じ新しく生きる力を育む活動に取り組まれています。第二部として、ジャーナリストでもあり和光大学教授の竹信三恵子さんから基調講演がありました。いまや日本の働く女性の6割が非正規労働者であり、その賃金は男性正社員の半分であること、均等法はあるものの同一労働同一賃金が確立されていない日本では、女性の貧困

化はますます進むこと、一方、男性の非正規化が進むなか、長時間労働など男性労働が過酷化し、夫婦で働いても貧困から脱出できない社会になっていることが指摘されました。その後のパネルディスカッションでは、今年3月に起きた川崎市中学生殺害事件のことが、毎日新聞に「ひとり親、支え不可欠」と題して報じられたことについて取りあげられました。女手一つで子供を育て、仕事に追われ、子供との時間を持つ余裕のないひとり親家庭の苦悩に対して行政がもっと手厚い保護、手当をすべきであることが各パネリストから訴えかけられました。最後に、書籍やSNSを使っただけの情報発信などの必要性が報告され集会は幕を閉じました。



第58回人権大会フレスキンポジウムが開催されます

『貧困と社会福祉～女性の視点から～』

弁護士 寺本佳代

9月5日（土）13時30分より、広島弁護士会新会館大ホールにて、第58回人権大会フレスキンポジウム「貧困と社会福祉～女性の視点から～」が開催されます。

女性労働者の約6割を占めている非正規労働者の平均賃金は、男性正社員の約半分しかありません。その多くは賃金を得る労働に加えて、家事や育児などの無償労働の大半を担っています。非正規の問題は、女性の問題と言っても過言ではありません。非正規の女性は、身分の不安定さからハラス



メント等の被害を受けやすく、当然に取得できるはずの産休、育休すらとることを許されない状況に追い込まれています。ひとり親世帯や高齢単身女性世帯における高い貧困率は、女性の貧困・低収入から派生した問題です。

基調報告では、県内の統計資料等を用いて、女性の貧困の現状をみつめます。その後の基調講演では、県立広島大学の都留民子教授をお招きし、女性が追い詰められない社会福祉制度とはどのようなものか、その実現は可能なのか等についてお話を伺います。皆様、奮ってご参加ください。

「生活困窮者自立支援制度を私たちの生活支援にどう生かすか？」

山梨県立大学下村幸仁氏講演(6月14日鞆の浦)を聞いて

この制度は元々、厚労省が福祉事務所生活課のケースワーカーだけでなく多くの人の力を借りなければ生活困窮者を救済できないということで構想が始まったのに、途中から財務省が生活保護受給者減らし・就労による自立支援の促進とセットで議論され始め、当初の構想が歪められたということを知りました。

私達が2009年に開設運営してきたシェルターが今年4月、広島市から「一時生活支援事業」の受託をしましたが、生活困窮者に一時的な住まい「シェルター」のみならず、支援を継続し

孤立させないための「居場所づくり」が不可欠です。生活困窮者自立支援制度には、「その他生活困窮者の自立支援の促進を図るために必要な事業」も任意事業として明記されていますので、今後、「ほっとサロン」の重要性を訴えていきたいと思っています。

自立相談支援事業「広島市くらしサポートセンター」が広く周知されることにより、私達の手が届かない多くの生活困窮者に手を差し伸べることができればと大いに期待しています。

『報道されないアメリカの真実と日本の選択』

6月21日の午後、広島市内のホテルにてジャーナリストの堤未果さんによる講演『報道されないアメリカの真実と日本の選択』(広島県保健医協会定期総会記念講演)が行われた。

2001年9月11日のアメリカ同時多発テロ事件の直後、アメリカでは平時では通らないであろう極端な全体主義的な法案が通り、ジャーナリズムが委縮していった話があった。アメリカの医療制度の話に変わり、一言でいえば医療は「商品」である点で、日本の医療が憲法25条の「社会保障」であることとは異なると述べた。アメリカでは、医療関係業界と政治とのつながりが医療制度を企業寄りにしてしまい、株式会社の民間医療保険会社がものをいう社会となっている。このため医師は書類作成で1日7時間くらい奪われている。日本の医

療は世界ではコストパフォーマンスが良いと見られている。

最後にこれからの課題について述べた。まず、TPPは国内法が邪魔なので、アメリカの息のかかった機関で裁くことができるISD条項だけ抑えておけばいい。日本は財界の人が多く名を連ねている経済財政諮問会議の提案をそのまま法律にしているものが多い。また、数字データに弱いのがこれは数字のトリックを見抜けないことを示している。ジャーナリストは問題提起だけではなく国民の持っている宝を活用させるのも仕事であり、国民は自治体議員をもっと使い、成果をインターネットでどんどん流せばいいと締めくくった。(T)

シェルター利用状況 平成27年7月1日

年代	男性	女性	合計
10代	6	13	19
20代	63	35	98
30代	129	26	155
40代	138	37	175
50代	130	30	160
60代	76	22	98
70代	28	10	38
80代	4	4	8
不明	12	26	38
合計	586	203	789

世帯内訳：単身711名夫婦31名親子47名

今後の相談会の予定

2015年 9月 8日(火)・9日(水) 暮らしとこころの相談会

2015年12月 8日(火)・9日(水) 年末年越し生活相談会

2016年 3月29日(火)・30日(水) 暮らしとこころの相談会

会員募集中です

正会員(個人)年会費 2,000円 正会員(団体) 年会費 5,000円

賛助会員(個人)年会費 5,000円 賛助会員(団体) 年会費10,000円

NPO法人 反貧困ネットワーク広島 事務局

広島市中区東白島14-15NTTクレド白島ビル7階

広島総合法律会計事務所内

電話:082-227-8181 FAX:082-227-1200

相談専用電話

090-4890-1579

平日10:00~17:00

